

2004 年度 第 1 回 常任幹事会 議事報告

日時 2004 年 9 月 18 日(土) 14:30 ~ 17:25

場所 料亭「大森」(名古屋市西区)

開会

会長挨拶 森田

秋田総会后、福田直前会長から総会無効とのメールが届いた一件について
6 月 22 日(火)東京での臨時の幹事会の報告
福田君より謝罪ならびにメールの撤回の意思
とんとん拍子で決まりすぎた総会への警告

議長選出 後藤

前回秋田でのグループ長・常任幹事会の審議内容報告

サーバーにアップされているので各自確認を

資料確認

第 1 号議案 秋田総会の決算報告 大門

航空券・ホテルパックでの参加者が多かった
約 4 割がパックで参加したため、抑えていたホテルの部屋がかなり余った
資料等のコピー代はホテル代に含んでいる
地元からの参加者の登録料を一部負担した
「靴が鳴る」の CD を購入。緑友会の備品にする
総会資料印刷代 100,000 円は別会計
提案事項 総会資料は常任幹事に事前配布する
宿泊費と登録料は別途扱いにするべき
マニュアルを作成する必要がある
神戸印刷若人会より総会・大会・セミナーのマニュアルを預かったが、内容的に時代にそぐわない
山梨総会では前日にリハーサルをおこなった
福岡セミナーは前年の東京セミナーのビデオを観て計画を立てた
マニュアルは、徳島総会から資料が途切れたのではないか
岐阜大会の資料はすべて CD に記録してある
次回への申し送りをきちんとおこなわなければならない
大会旗・総会旗などと同時に台本や打ち合わせの資料などを申し送るようにすると同時に常任幹事会にも提出する
ホームページ上にアップしてもよい
作成したマニュアルは、各主管団体がアレンジしても可
今期中に揃えられるものは揃えていく
次期の常任もふまえて、沖縄大会では具体案を提出する

第 2 号議案 沖縄大会の進捗状況 外間

今日現在で登録は 0 人
宿泊は 300 室を抑えてある
報道関係への案内は主管団体でおこなう
国旗(日の丸)はなし
前日にゴルフコンペを予定している
オブショナルツアーについて
グループ長・常任幹事会は大会の前におこなう
講演会の演題は「他府県で生まれた人間から見た沖縄」
講師仲村さんの書籍を販売
大会参加の見どころとして、講演会、創作エイサーの日出クライブ、水族館
2 次会はホテル内か石川市で
服装についてはカジュアルな格好で可

第 3 号議案 大阪セミナーの進捗状況 福智・作道

名称は第 2 回 PRINT4
主管は緑友会
大阪らしさをアピールしたい
基調講演は(株)アオキ社長 青木氏による「中小企業発宇宙制覇」
分科会を 8 つに分けて、ディスカッション形式でおこなう
東京での PRINT4 を意識する必要はない
式典や綱領唱和など、他団体との取り決めは？
緑友会の裁量にまかせてもらいたい
緑友会からの補助金は今回もゼロ
PRINT4 としての綱領を作成すべき
沖縄大会の後で案内を出す

第 4 号議案 長野総会について

竹内君欠席により省略

第 5 号議案 災害義捐金に関して

大西会計より新潟へ義捐金振り込みの報告
お互いに助け合える布石になったのではないか
緑友の常任幹事会として追加で 50,000 円振り込む
新潟にお金を振り込んだ後に広島青年印刷研究会中西会長より台風 18 号の被害メールが届いた
台風 18 号の被害状況の確認を確認すべきではないか
きちんとした規定をつくって、義捐金を今後積み立てていく必要があるのではないか
天災の解釈はいろいろなので、言い出したらキリがない
言ったもの勝ちになってしまうような気がする
火事の場合はどうなるのか？
緑友会としてグループに対してお金を出す
非常事態なので、緑友基金を取り崩してもいいのではないか
広島青年印刷研究会への義捐金の協力を会長名で各グループに対して要請する
何かがあったときの、今後の取り組みを明文化する必要がある
義捐金は不可抗力・天災に限る
災害基金をつくれれば速やかに対応できる

広島青年印刷研究会に本会計から 50,000 円支出する

第 6 号議案 次期大会ならびにセミナー開催地について 島

沖縄大会の次は 2006 年に札幌で 8 月に大会を予定していたが 9 月にジャグラの文化典
が開催されることになった

2005 年に仙台が 50 周年を迎える

札幌は 2006 年に 30 周年

2006 年度で開催すればいいので、2007 年の 3 月末まで猶予がある

セミナーと大会の順序を入れ替えてもいいのではないか

ジャグラとの同時開催の道も探ってもいいのではないか

周年行事がある場合は呼びかけをしてもらい、また各グループの周年行事の予定を出し
てもらう

大阪の次のセミナー(2007 年)を仙台に打診してみてもどうか

緑友会の 50 周年行事も視野にいれなければならない

藤田次期会長は所信の表明や任期中の計画を針長野総会で正式に発表すべき

第 7 号議案 緑友会事務局設置のに関する提案 藤田

大阪青年印刷クラブのメンバーである、印刷タイムス内に事務局を設立して、一部事務
を委託してみてもどうか

内容として、フレンドオブグリーンの更新、各グループの紹介、事業の成功事例などの
紹介

FAX でアンケートを送付し、取りまとめる

内容のある活動をしたところに表彰をおこなう

予算としては、年間 10~20 万円くらい

事務局は名簿担当の常任幹事の処遇

業者としての色がついてしまうことへの懸念がある

情報の一元管理の面からも、今のままでは情報が離散してしまう

事務委託のメリット・デメリットを考慮の上、各グループ長に呼びかけ次期総会で承認
をとりたい

第 8 号議案 その他

イベントの回数を減らすことになったが、イベントごとにおこなっていた、グループ
長・常任幹事会の回数も減らしていいものかどうか

沖縄大会から大阪セミナーまでの間の日数があまりないが、常任幹事会は開くべきか否
か

必要に応じて召集したのでいいのではないか

常任幹事の引き継ぎは確実にこなうように

審議内容の確認 阿部

総括 森田

閉会